

14/25 5-22

反社会的カルト集団・統一教会との深い癒着が次々発覚し、厳しい批判を浴びてきた山際大志郎経営者生田真理がようやく辞任しました。統一教会の新たな接駆が実現するなど国民たむに讃叹されねど、「記憶どなし」だらりと黙き直つてしましだが、前に遡れば通用しない／ならあつた。

主
司
長

山際再生相の辞任

岸田首相の関係が次から次へと判明します。
国内での会合だけではなく、ネバ
ルやナッシュエリヤならびに会合に
も出席を繰り返していたにもかか
わらず、「資料がない」「確認でき
ない」などといったを繰り、動
かぬ筋道が出ていたと人々認め始め
ところ不誠実な対応に終始して

岸田首相の任命責任は重大だ

三選出の選先を無視する
新規の国際機関に対する
「組合の賛成」が一躍
「組合の賛成」から「組合の反対」へと
転換され、結果として新規
の選出を實際に任命して
組合の主張をしておらず、
組合は怒れおやじ。

まあまあせん。政治としても、党としても責任を持った調査を行つぐれども。統一検査が国民党議員に訴えた「推薦確認書」などもあてられこじでわざわざ。雖も関係者が深かった安倍晋三元首相や細田博之衆院議員の調査は不可欠です。畢竟の発覚を防ぐために明らかにするのが畠田謹相の責任です。

す。統一協会の「立派な」むかしで、深窓は被説教されたんだよ」と余り反省のない三藤田と謹慎の癡情がなからだいふと思ひやう。

す。統一機関の「古事記」では、
深刻な被虐をいたたとに余

くし 直立の高さを取らなければなりません。